

【第2回】白子町 住民ワークショップ まとめ

I ワークショップの実施について

1. 実施目的

「白子町第5次総合計画後期基本計画」の検討・策定に向け、住民の意向を把握し、次期計画を策定する際の参考資料を得るため実施しました。

2. 実施概要

【第2回】

開催日時	2022年7月9日（土）14：00～16：00
開催場所	白子町役場第5会議室
参加者数	15名（3グループ）
テーマ	白子町を今よりも良いまちにする

3. ワークショップの検討の流れ

1. 「健幸」「防災・防犯」「教育」「産業」「住環境」「住民参画」各分野のビジョンを実現するため、「〇〇を増やす」「△△を維持する」「〇〇を減らす」という視点で考え、付箋に書き出す



2. 検討した“増やす”“維持する”“減らす”をチームで共有



3. “増やす”“維持する”“減らす”の視点と、実現するための方法のまとめ

Ⅱ 分野ごとの検討結果

【健幸】

健康(健幸)な人を増やすため、「健幸ポイント」を活用した方法が提案されたほか、「声かけ」による支え合いのまちの実現や、孤独死を減らすための提案もありました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	幸福の実感あふれる町	真に健康な人を増やす	「健幸ポイント」制度の運用見直し 効果の検証(医療費・健診データの改善度)
B	お隣さんと支え合う町	挨拶・声掛けを行うことを増やす 健幸な人を維持する 孤独死を減らす	町内放送で呼びかける 日常会話 健幸ポイントをアプリで管理 毎日声掛け

【防災・防犯】

安全・安心なまちの実現に向け、「まちを明るくする」という視点に立ち、「防犯灯・街灯」を設置するといった方法が提案されました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	安心・安全な微笑みのまち	街を明るく	防犯灯や街灯の増設
B	安心・安全な町づくり	街灯を増やす 避難所の確保	町予算を増やす 地域で弱者を支える

【健幸・防災・防犯】

Cチームでは、「健幸」と「防災・防犯」をまとめて検討しました。「大人から子どもまで集えることができる場所をつくる」という視点に立ち、その実現のために、「地域の声かけ・見守り隊」「公園に健康器具を設置してコミュニティを育む」といった方法が提案されました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
C	全ての人に福祉が届いて元気に長生きできるまち 子育て支援の充実を みんなが地域の見守り隊!	大人から子どもまで集まる ことができる場所をつくる	地域の声かけ・見守り隊 公園に健康器具を設置

【教育】

小学校の統廃合について、統廃合後の教育のあり方や、教育人材の確保に関する方法が提案されました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	学ぶは何の為、価値ある人生歩む為	教育人材の育成・確保	専門職員の配置 (IT・英語)
B	教育機会の均等 小中学校の統廃合	学校以外の教育を増やす 小学校の統廃合を進める	若手講師を呼び込む・育成
C	学校統合 沢山の学びを！	学校が統合されることによる付加価値を高める	白子町についての学習をさらに充実させる 白子町でできることを子ども達が考えられる教育環境の整備

【産業】

町の活性化に向け、起業創業支援の実施や、人を呼び込む方法として「イベント・フェスの開催」に関する提案がありました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	地域産業生活基盤の旗印	起業創業支援 農業持続化	助成金 活用するためのアドバイザー 法人化
B	通年観光による豊かな町 新たな特産物とPR	人を呼び込む 農地・ホテル・テニス・サッカー場の維持	イベント・フェスの通年開催 SNSの活用

【住環境】

住み良い町の実現に向け、雑木林の整備、海岸公園の設置といった方法が提案されたほか、コンパクトシティの実現に関する提案もありました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	住んで良し、生きて良し、生まれて良し	街を明るく 買う・遊ぶ・食べる	雑木林の整備・管理 海岸公園の設置
B	コンパクトシティの実現	空き家の活用・定住者を増やす コミュニティバスを増やす 自然を維持する 空き家・議員の数を減らす	移住者に補助 まちの予算を増やす

【産業・住環境】

Cチームでは、「産業」と「住環境」をまとめて検討しました。住民のための道の駅をつくるという視点に立ち、コミュニティ、移住、産業創出に関する提案がありました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
C	道の駅をつくろう！ 交通インフラ整備（小さなバス）	住民のための道の駅をつくる	コミュニティスペースの設置 週1回のマルシェの開催 移住相談窓口の設置 移動販売車の拠点

【住民参画】

「住民が集える場をつくる」という視点に立ち「イベントの開催」「自治会の加入促進」に関する提案が行われたほか、「町長と意見交換の場を増やす」といった提案もありました。

チーム	第1回ワークショップ ビジョン	第2回ワークショップ	
		視点	方法
A	絆の結びの強いまち	集いの場	イベント開催 テニスイベントなど 若者が集まれる場 (廃校の活用)
B	意見交流の場にある町	交流の場・SNSでの発信を増やす 町長との意見交流の場を増やす	不透明な議会・行政運営を減らす
C	子育て支援を充実させて移住者を増やそう！ →（自治会に参加してもらおう）	自治会に入る人を増やす	自治会に入る意味を理解してもらおう ・共同の畑で農業を教え合う ・イベントで住民の交流を図る

各チームの模造紙内容まとめ（参考）

■ Aチーム

○付箋の内容

まちづくり分野	増やす	維持する	減らす
健幸	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロード ・健康ポイントの見直し（ボーナスポイント） ・健康診断の回数 ・気軽に参加できる足 ・乗り合いバスの運行 ・施設の確保（参加者多数で申込受理待ち状態） 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロードの整備 ・診断後の結果の後追い ・高齢者の医療の支援サービスは今でも十分にある ・子どもも、学校等で健康診断や歯科検診も実施されているが、今のまを維持した方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸ポイントの交換レート ・アドバイス ・歩数計よりポイント目標になっているポイント
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯・歩道 ・防犯灯 ・地域の絆の連鎖 	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDに変える ・声掛け ・子どもの安全は、朝保護者の方々が立って下さり、学校からの集団登校があるので good ・治安はそれなりにいいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れた竹林 ・雑木林 ・樹木の伐採 ・暗い場所・死角 ・海拔標示板
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・大人の学ぶ場 ・大人から子どもへの共有 ・教育の専門職員 ・誰でも参加しやすい教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設備の修繕 ・眠っている地域住民の特技を調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・3小学校・3保育所の統合
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・税制優遇 ・道の駅はあり ・小学校の統廃合の話があるが、統合してもいいと思う ・それに伴い、使わなくなった学校を再利用して、宿泊施設にしたい ・地元での働き口 ・竹林の処分場・再利用施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者、起業を応援して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗（地元商店街の活性化に向けた空き店舗・駐車場の活用）
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・ゴミゼロ運動の活発化 ・空き家の利用 ・バス便 ・海の公園 ・住民が集える場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所 ・住民同士の助け合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒れた竹林 ・雑木林 ・空き家
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・フリマ・個人の作品を展示・販売するイベント ・多くの町民が気軽に参加できるイベント ・SNSでの情報発信 		

○視点・方法

まちづくり分野	視点	方法
健幸	・真に健康な人を増やす	・「健康ポイント」制度の運用見直し 効果の検証 →医療費 →健診データの改善度
防災・防犯	・街を明るく	・防犯灯・街灯の増設
教育	・教育人材の育成・確保	・専門職員の配置（IT・英語）
産業	・起業創業支援 ・農業持続化	・助成金 活用できるためのアドバイザー ・法人化
住環境	・街を明るく ・買う・遊ぶ・食べる	・雑木林の整備・管理 ・海岸公園の設置
住民参画	・集いの場	・イベント開催 ・テニスイベントなど ・若者が集まれる場所（廃校の活用）

■ Bチーム

○付箋の内容

まちづくり分野	増やす	維持する	減らす
健幸	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・バリアフリー ・40歳以上の方を対象に行っている歩行した量はアプリで変更 ・声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・不透明な議会・行政運営 ・議員歳費
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所 ・街灯 ・避難所は役場の上に設置 ・ペットが入れることにする ・交通安全指導（小・中学生の登下校のときに見回りなど） 		
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行 ・学童 土曜スクール ・学校以外の教育 ・白子町についての教育 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな温泉・ホテル ・グランピング ・企業誘致 ・白子玉ねぎのPR（玉ねぎのレシピや特産物の魅力をアピール） ・SNSの活用（YouTubeやInstagramの更新など、チラシなど） ・フェス、イベント（玉ねぎ祭り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地 ・ホテル ・テニス ・サッカー 	
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス ・移住者に補助 ・歩道の整備 ・空き家の活用 ・上下水道 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家 ・議員の数
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回町長と意見交換 ・交流の場 ・住民サークル 		

○視点・方法

まちづくり分野	視点	方法
健幸	〈増やす〉あいさつ・声かけを行う 〈維持する〉健幸な人 〈減らす〉孤独死を減らす	<ul style="list-style-type: none"> ・町内放送でよびかける ・日常会話 ・健幸ポイントをアプリで ・毎日声かけ
防災・防犯	〈増やす〉街灯を増やす 避難所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・町の予算を増やす ・地域で弱者を支える
教育	〈増やす〉学校以外の教育 〈減らす〉学校（統廃合）	<ul style="list-style-type: none"> ・若手講師を呼び込む、育成
産業	〈増やす〉人を呼び込む 〈維持する〉農地・ホテル・ テニス・サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・フェスの通年開催 ・SNS の活用
住環境	〈増やす〉空き家の活用、定住 コミュニティバス 〈維持する〉自然 〈減らす〉空き家、議員の数	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者に補助 ・町の予算を増やす
住民参画	〈増やす〉交流の場、SNS での発信 町長との意見交流	<ul style="list-style-type: none"> ・不透明な議会・行政運営を減らす

■ Cチーム

○付箋の内容（視点・方法を含む）

まちづくり分野	増やす	維持する	減らす
健幸 防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・遊具 ・スポーツできる場所 ・車通りが多い場所は歩道 ・見守り隊→公園等 ・公園 ・健康でおいしい食事の紹介 ・声かけ ・こどもが放課後遊べる場所（行ったら誰かがいる） ・登下校の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、人気の講座をもっと増やす ・病院 ・和食の給食 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地 ・空き家
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・白子町が大好きになった子どもが住み続けたいと思う仕組み ・白子町についての学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの白子町の教育 ・白子町が大好きになる ・学校統合しても3小学校それぞれのいいところは忘れないで 	
産業・住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者（農産物・海産物）を増やす ・農業者 ・漁業者 ・コミュニティスペース ・町の人のための道の駅 ・雇用者 ・移住相談窓口 ・スーパーを増やす ・地元の商店（魚屋さんがあったらいい） ・オーガニック有機表示の道の駅 ・移動販売車（買い物弱者に） ・スクールバス ・小さなバスの経路（細かく走る） 		
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・共同畑・自治体畑（農業を教わる） ・自治会を改革する（意味があるように） ・自治会に入って仲間を増やす ・コンポストのワークショップ（補助金だけでなく） ・イベント事、お祭り 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの量